

# 事業報告書

団体名：かめおか遊友ネットワーク

|         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 1. 事業名  | 地域絆づくり推進事業                            |
| 2. 実施内容 | 実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など) |

①レク楽園  
(年度5回) (5月24日、7月12日、9月20日、12月6日、2月7日) (目標150人→107人、会員割合40%)  
ゲーム・ソング・ダンスやホスピタリティトレーニング、アイスブレイキングなどレクリエーションのアクティビティと活動の企画・運営を学ぶ講座に毎回20人の参加があったが、目標の毎回30人に達しなかった。キラリには毎回掲載していただいたが、キラリを見てくる人がいなかったのは残念であった。去年の参加者にはダイレクトメールをした。また、ネットワークを使い広報したことで、毎回20名の参加が確保できた。参加した方々は毎回学ぶべきことがあると好評で、リピーターが増えた。

②亀岡共生プロジェクト勉強会  
(12月14日、1月30日) (目標100人→75人、会員割合30%) ※講演会当日が選挙と重なり、参加が減った。  
様々な障害に対する支援がどのようにあるべきか？障がいをサポートするための気遣いと支援方法を現場の声から学ぶ企画である。今回、助成金を得たことでプロップステーションの竹中ナミさんの「チャレンジドが納税する社会に」と題しての講演及び認知症サポーター養成講習会を実施することができた。障がい者の和太鼓グループ“DON舞”にもオープニングで協力していただいた。

③第21回・22回手づくりワークショップ  
(年度2回) (6月14日、11月8日) (目標80人→56人、会員割合50%)  
素敵な講師によるレクリエーションのアクティビティの数々を紹介。場の盛り上げや対象者の違いによるさまざまな配慮について、お互いに情報交換する企画で、今回の6月講師の杉本雅子さんはレクリエーションコーディネーターで、日常生活にある材料をリサイクルして楽しい作品をつくるクラフトを中心に、発想力を学び、ものづくりの楽しみを知りました。11月は堅本盛行氏を大阪府レクリエーション協会から派遣いただき、介護予防のレクリエーションのアクティビティの数々を紹介いただきました。

④遊友ハイキング～深山で遊ぼう～  
(4月29日) (目標30人→22人)  
自然環境について学びながら、自然環境を守る大切さとネイチャーレクリエーションの楽しみを知るイベントです。今回もつつじの美しい花のトンネルや緑を満喫しました。

⑤第11回かめおかWAKUWAKUフェスティバル (6月28日) (目標300人→400人)  
地域の遊びの達人が子どもたちに遊びの面白さを伝える、異世代交流イベントは地域の各種団体の協力、自治会、小学校やPTAの協力を得て、大成功でした。

|   |   |
|---|---|
| 3. 効果   | 実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。  |
| <p>1年を通して、延べ700人が交流し、学びあい、今回新たにNPO法人元気アップAGEプロジェクト、京都ジュニアクリケットクラブ“フェニックス”やローンボウルズクラブなども立ち上がり、京都学園大学を拠点に様々なグループが活動をスタートしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レク楽園<br/>一般市民と若者たちの交流の場。世代や地域を越えた交流、また地域から若者たちが学ぶことで相乗効果があった。</li> <li>・亀岡共生プロジェクト勉強会<br/>障がいに対する基本的理解を深め、支援していけばいいのかなど、現場の声が直接とどいた。</li> <li>・手づくりワークショップ<br/>上記のとおり、素敵な講師によるレクリエーションが伝授され、場の盛り上げ方やコミュニケーション能力が養えた。</li> <li>・遊友ハイキング<br/>自然と触れ合い、助け合う心や優しさが芽生え、参加者全員で共有できる緑の空間を体験できた。</li> <li>・第11回かめおかwakuwakufiestaフェスティバル<br/>幼児から高齢者までは交流する一大イベント。昔遊びやクラフトニュースポーツなど、大好評。異世代交流や市民協働の場となっていた。</li> </ul> <p>補助金に頼らない自立した運営体制に向けて、会員を増やしたり、参加者を集めるための広報をもっと効果的に行ったりする、人が集まるイベントなどの際にチラシを配布するなどを検討したい。</p> |   |
| 4. 協働の効果  | <p>※企画提案型協働事業のみご記入ください。<br/>事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。</p> |
| <p>※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。<br/>※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。</p>  |   |

# 地域絆づくり推進事業

## かめおか遊友ネットワーク



レク楽園(年度5回)



かめおか共生プロジェクト



かめおか共生プロジェクト



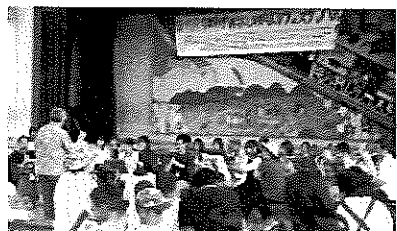
かめおか共生プロジェクト  
認知症サポーター養成講座



手づくりワークショップ



遊友ハイキング～深山で遊ぼう～



第11回かめおかWAKUWAKUフェスティバル

